



赤穂市国際交流協会会報

AKO INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION NEWSLETTER

2017. 12

Vol. 58



～ 姉妹都市協定締結20周年記念事業 ～

ロッキングハム市を訪問しました



「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」紹介スピーチ
(市民訪問団・ジャパンアートマイル実行委員会)

西豪州ロッキングハム市との姉妹都市協定締結から20周年を迎える本年、11月5日(日)～11日(土)にかけて、12名の公募市民訪問団をロッキングハム市に派遣しました。

今回は、明石市長、有田市議会議長の公式訪問団とともに渡豪し、ギャラリー・ホーランド・コミュニティセンターでの歓迎レセプションをはじめ、様々な交流会に参加、民謡や盆踊りなど日本文化の披露を行いました。

レセプションでは、明石 赤穂市長とサメルズ ロッキングハム市長との間で記念品の交換が行われ、赤穂市からは観光大使、小林太玄氏による「把手共生」の書、久野朝代氏作、大石内蔵助の木目込み人形を贈り、ロッキングハム市からは現地の風景や歴史を描いた絵画が贈られました。

滞在中は、ロッキングハム市の職員の方々、議員の皆さま、そして多くの市民の方に大変親切にいただき、暖かな、心通い合う交流を深めることができました。

この訪問を機に、これからもロッキングハム市と赤穂市が一層親睦を深め、共に手をたずさえて発展していく関係になるように願います。

参加者レポート

市民訪問団派遣事業「姉妹都市20周年記念事業」に参加して

ロッキングハム市民訪問団に参加して、語学が堪能ではないので不安で一杯、緊張の出発でした。

現地では歓迎をしていただき、アルコールアレルギーの私もその会場に溶け込もうと必死でした。文化、言葉の違う人々の交流は、言葉以上に情熱で相手に伝わると実感しました。コルベ校の13才の学生さんたちは恥ずかしがらず堂々と、年齢、趣味等を日本語で尋ねられ、片手には日本語ノートがあり事前の勉強をした跡があり感心しきりでした。



他には、以前に赤穂にも来られた“ジョイさん”の本音の感想も聞くことができ、次に来穂して頂く折には私の守備範囲で接待しよう！！外国人の方々とは接する機会が少なく慣れなかった為に引っ込み思案になっていたのですが、少し慣れたこともあり、接待方法も先が見えてきた感じがします。

通訳さんは細やかな心配りがみえて安心できる日々でした。一番学んだことは、日本人の姿(家庭、風習、民族性)をそのままお伝えすることだと…。機嫌を取るのが交流ではない「もてなし」の心で接して楽しんでいただく事だと思っています。来穂を楽しみに待っています！

現地での様子





国際理解講座を開催しました



赤穂市国際交流協会では今年も、8月27日（日）、市立図書館視聴覚室において、海外ボランティアの異文化体験をテーマに、JICA より2名の講師の方をお迎えし講演会を行いました。

～住んだ国から教えられたこと～

青年海外協力隊としてマレーシアに派遣された高澤栄子さんは、2年間の幼児教育の活動の後、その6年後にも再びシニア協力専門家として望んで赴任されました。

「現地に合った方法で自分たちのやり方を見つけられるように、現地の文化・習慣を大切に相手を尊重して指導するよう心掛けた」という高澤さんは、2016年にかつての任地であった幼稚園を30年ぶりに訪ねたところ、

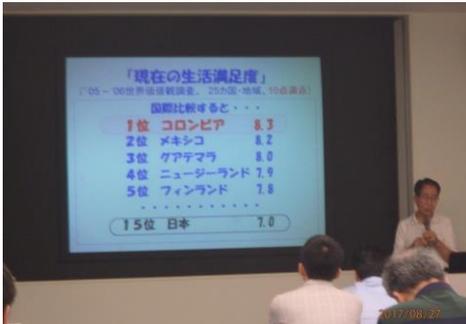
「園舎は変わっていたものの、当時の新任の先生が園長となって自分を覚えて喜んでくれ、同僚を呼び集めて歓迎会をしてくれた」と語り、大変感動的なものでした。



～コロンビアの悩みと明るい未来～

シニア海外ボランティアとして、コロンビアで品質管理指導にあられた富永雅久さんは、現地の労働者の明るくもあり、いい加減でもある気質に、助けられも苦勞もされたようです。複数の工場や事務所を順番に指導していた富永さんは、まずは「整理整頓」から徹底するよう指導をされましたが、「すぐに自分を受け入れてくれる反面、しばらく離れているとまたもとの雑然とした風に戻ってしまう」とのことでした。

左翼ゲリラとの50年にも続く内戦や、殺人、誘拐、麻薬が蔓延し、生活が危険と隣り合わせであることにも関わらず、なぜか生活満足度が世界で有数に高いコロンビア、2016年秋には政府とゲリラとの和平交渉が成立しましたが、楽天的な国民性とあいまって明るい未来に包まれるよう願います。



「英語でRAKUGO」を開催しました

『姫路 ESS』の会員3名（笑豊利亭”^{えぶりてい}初飛^{はっぴー}さん、田中屋おはぎさん、^{ろしあへいくぞう}露幸家幾三さん）をお招きし、8月13日（日）、ハーモニーホールにて英語落語会を開催しました。

笑豊利亭”初飛^{はっぴー}さんは、「桃太郎」を題材に、子どもを寝かしつけようとする父親が屁理屈をこくこどもにやり込められる創作話「The Peach Boy」、田中屋おはぎさん、露幸家幾三さんは、古典落語の「茗荷宿」、「権助魚」をそれぞれ英語で披露され、21名の参加者を大いに楽しませました。



また、市内の女性と結婚し、赤穂市に住んで2年になるコーディーさんに流暢な日本語で、ご自身の出身地であるアメリカサウスカロライナ州の紹介や、クイズ形式で外国文化などのお話をいただきました。最後には、福祉施設などでボランティアで折紙指導をされている南千鶴さんに、さまざまな折紙を指導いただき、コーディーさんと一緒に楽しみました。

姉妹都市ロッキングハム市について

◆姉妹都市提携に関する盟約◆

日本国兵庫県赤穂市とオーストラリア国西オーストラリア州ロッキングハム市は、教育、文化、スポーツ、観光、経済等の各分野にわたる交流を通して友好を深め、両市の発展と市民の幸福の増進に努力し、もって、日豪両国の友好親善に寄与し、ひいては、世界の平和と人類の反映に貢献することを希求し、ここに姉妹都市として提携することを盟約する。

この盟約書は、日本語と英語で作成し、各々これを保有する。

平成9年（1997年）4月15日

ロッキングハム市は、西オーストラリア州の州都パースから南西約47km、人口約14万人、面積261km²の都市です。気候は温暖で、市域は美しい海岸線とそれに沿うように広がる住宅地、原生地や森林の多い内陸部からなります。

2026年には人口16万5千人となると見込まれており、西オーストラリア州でも発展が目覚ましい、活気のあるまちですが、その一方で、ガーデン島、ペンギン島などの島々に囲まれ、波静かで美しいリゾート地としても人気があります。ぜひ皆さんも一度訪れてください！



協会からのお知らせ 日本語教室



- 開催日：毎月 第2・第4 火曜日（原則）
 - 時 間：19時～20時30分
 - 場 所：赤穂市役所2階204会議室
- ※会場は変更になる場合があります

月	開催日	3月	13・27
1月	9・23	4月	10・24
2月	13・27	5月	8・22

料理教室の開催について

ご好評いただいている各国の料理教室は、今年度は2月に開催する予定です。詳細が決まりましたら、チラシ等でお知らせいたしますので、ご参加のほどよろしくお願ひします。

ボランティア/会員募集

協会の企画運営・会報作成等のお手伝いをしていただける方を募集しています。事務局まで連絡下さい。

併せて、協会会員も随時募集中です。

【年会費】 個人会員 1 □ 1,000 円
法人・団体会員 1 □ 10,000 円

★ VOLUNTEERS WANTED ★

- ・ AIFA Planning/Operating volunteers
- ・ AIFA Newsletter Editing volunteer

★ SPONCOR MEMBERS WANTED ★

【Annual membership fee】
・ Private : ¥1,000
・ Party/Corporation : ¥10,000

赤穂市国際交流協会（事務局：市役所市民部市民対話課内） **AKO INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION =AIFA=**
〒678-0292 赤穂市加里屋 81 番地 (located at the Citizen Dialogue Department in City Hall)
Tel(0791)43-6818 Fax(0791)43-6810 1st floor, 81 Kariya, Ako, Hyogo 678-0292, Japan
E-mail taiwa@city.ako.lg.jp <http://www.city.ako.lg.jp/shimin/machizukuri/kokusaikouryu.html>